

(視聴可能/サービス提供世帯の定義、広報番組の市外放送化)

委員 視聴可能世帯とサービス提供世帯の違いは何か。

所沢市の広報番組を例えば、市外の埼玉県下4局の視聴者に視聴してもらうような編成は可能なのか。

事業者 サービス提供世帯は、有料サービスに加入していただいている世帯。視聴可能世帯は、集合住宅や電波障害エリアの戸建てにケーブルをつなぎ込んでおり、無料で J:COM チャンネル(10、11ch)を視聴することが可能な世帯である。

広報番組を市外に視聴エリアを広げることは、可能である。シティセールスの位置づけで、他にも放送エリア拡大を図っている自治体もある。放送エリア拡大には、別途、放送料のご相談をさせていただくことになる。

(身近な情報のテレビ発信を通して市民団体入会促進)

委員 番組ダイジェスト映像にあったように、地元の高校取材など身近な情報を取り入れてもらえるとは有難い。婦人会に加入する人が減っているが、婦人会が行うイベントの物販の様子などをテレビで取上げていただくことで、加入のきっかけになればいい。

事業者 婦人会の活動状況を番組で取材することで、子育てが終わり、地域のために何か役立つことがしたいという主婦たちにもこうしたイベント活動の場があることを紹介できる。自治連合会の活動も、かつて番組で取上げたことがある。

(イベントの事前 PR、イベント企画提案)

委員 青年会議所のイベントは、実施直前の1、2ヶ月前の理事会審議を経て確定することから、告知期間が短くなりがちで、市民からも「こんなイベントは知らなかった」との指摘を受ける。

メディアの力は大きいので、J:COM には、イベント事前告知のご協力いただければ有難い。広報委員会では、新聞社、テレビ、市役所向けにも定期的にプレスリリースをしているが、我々も番組の視聴率が上がるような企画を準備していきたい。J:COM からもイベント企画のご提案があれば、参考としたい。

事業者 イベントの事前告知は、情報をいただければ、積極的に対応したい。

(来年度の編成方針)

委員 来年度に向けて、新番組やチャンネル編成の動きがあれば教えていただきたい。

事業者 来年度は、生放送、生中継の番組を増やしていきたい。

深く掘り下げるドキュメンタリー番組が少ないので、単なる日常の情報だけでない地元・所

沢の歴史や魅力を深く知る番組も制作していきたい。すぐにレギュラー化ではなく、四半期に1本程度の頻度でも放送を検討したい。

また、毎日、チャンネルを合わせていただけるように、“今日”“今週”の「所沢情報」をJ:COM チャンネルで分かりやすくお伝えしたい。1日1回チェックしてもらえる番組作りを目指したい。

天気、災害情報も J:COM チャンネルだからこそ出来る、細かな情報を発信していきたい。例えば地震、台風時には、まず 11ch を視聴していただけるよう、努力していきたい。

(高齢者向けの情報発信を)

委員 高齢化社会を迎え、社会問題として、施設に入居できない高齢者(家族)に向けて、社会の要請に沿うように J:COM チャンネルからの情報発信も必要なのでは。

(チャンネルや番組の PR)

委員 11ch にチャンネルを合わせる習慣付けとなるような、宣伝はどうしているのか。

事業者 取材現場では、放送予定チラシを必ず配布しているが、それだけでは十分ではないので、ブログ、ツイッターなども活用し、番組内容の発信を強化している。

(ドキュメンタリー番組の強化)

委員 ドキュメンタリー番組は、人を惹きつける魅力がある。充実させて欲しい。

(VOD での番組視聴化)

委員 ドキュメンタリー番組は、VOD で視聴できるのか。

ライブラリーとして、後でも視られるように対応して欲しい。

(審議会に学識経験者を招聘)

委員 放送法に基づいた審議機関であるので、委員構成としては、所沢には早大や秋草学園など大学もあるので、規程にもある通り学識経験者が必要なのではないか。次年度、審議委員の委嘱に向けて検討願いたい。

以上